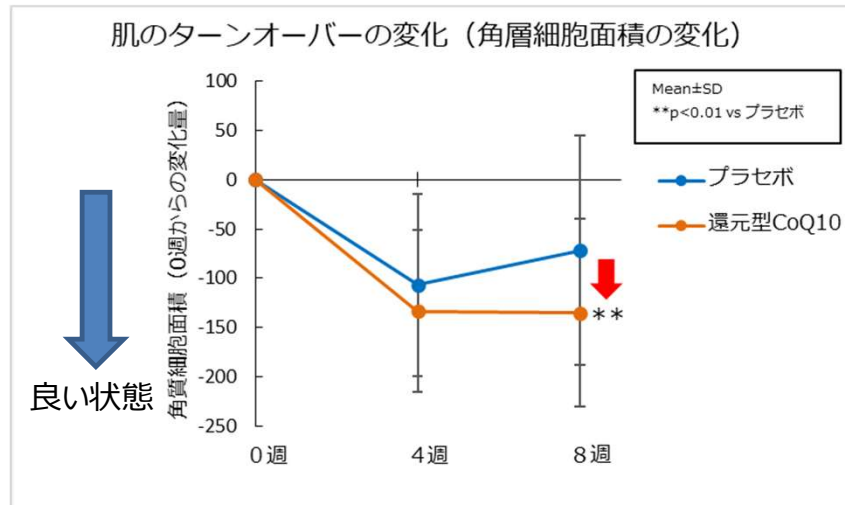


健常女性の肌に対する還元型CoQ10による ターンオーバーおよび水分量の改善



【試験方法】

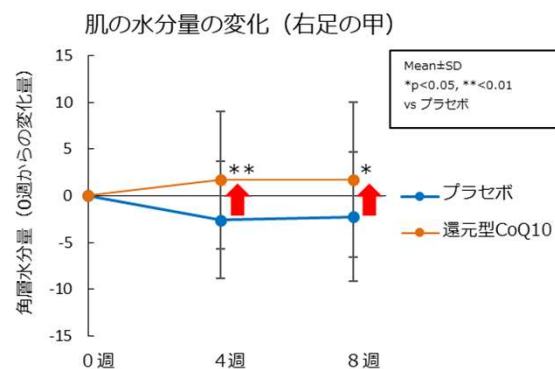
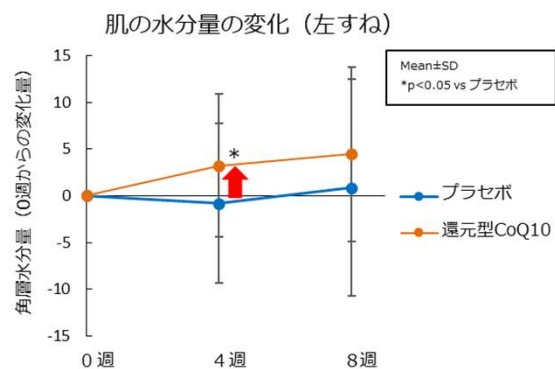
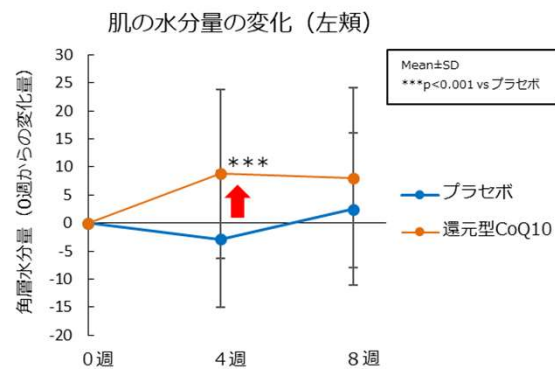
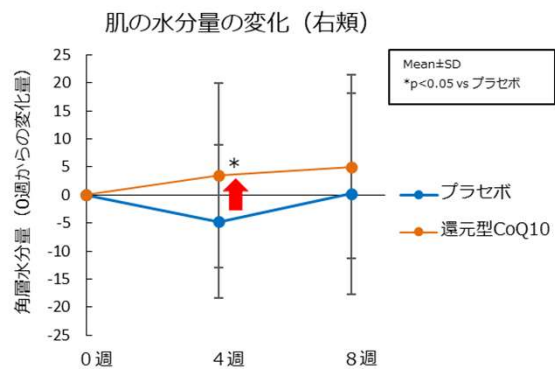
- 試験デザイン：ランダム化二重盲検対照比較
- 被験者：肌の不調※を自覚している健常日本人女性 85名
還元型CoQ10群 47.5±6.9歳
プラセボ群 48.3±7.2歳（平均値±標準偏差）
※肌の不調：乾燥などによる肌荒れ、たるみ、しわなどの肌の衰え、肌のターンオーバーの乱れ
- 食品：8週間摂取
還元型CoQ10（100mg/日）またはプラセボ
- 評価：肌のターンオーバー、肌の水分量、ほか

【結果①】肌のターンオーバー（採取角層細胞面積での評価）

還元型CoQ10群では、摂取8週後の角層細胞面積がプラセボ群と比較して有意に小さかった。

※グラフは平均値±標準偏差を表す。

(Morikawa H et al, Jpn Pharmacol Ther. 2023;51(4):551-62より作成)



【結果②】肌の水分量（コルネオメータによる測定）
還元型CoQ10群では、右頬、左頬、左すねは4週で、右足の甲は4週と8週で、プラセボ群と比較して肌の水分量が有意に改善した。
※グラフは平均値±標準偏差を表す。